

「フィルムの良さを伝える会」

会 員 募 集 中

「フィルムの良さを伝える会」は、銀塩フィルムの高品質を認識し、それを会員同士で伝え合い、さらにお客様にもその良さを伝えることで“写真館の本質”を追求することを目的として設立いたします。

〈発起人〉

■ 滝不二樹

写真館かつみ・愛知県江南市

■ 川地清広

写真の川地・三重県名張市

■ 富田 豊

トミタスタジオ・東京都八王子市

■ 田中秀幸

日之出写真館・東京都品川区

■ ヤナセセイジロー

ヤナセ写真館・埼玉県熊谷市

■ 滝澤一浩

タキザワ写真館・長野県丸子町

■ 清田智勝

セイタ写真館・神奈川県伊勢原市

■ 目 的

フィルムの良さを認識し、それを会員同士で伝え合い、さらにお客様にもその良さを伝えることで、写真館の本質を追求することを目的とする。

■ 会員資格

営業写真家で、スタジオ写真（記念写真等）をフィルムで撮影している方。（フィルムの良さを認識して、今後もフィルムで撮り続けたいと思われる方）

■ 賛助会員

趣旨に賛同するラボ。

■ 具体的な活動

- **動くギャラリー** 会員から、フィルムで撮影した作品2点（六ツ切）ほどを集め、それを事務局で一冊のファイルにまとめ、それを会員から会員へと宅配便で送り、オリジナルプリントを見ていただき、勉強する。1人2日ほ

どで次の会員に送り、全会員に回るものとする。年に2～3回行う。

- **写真展の開催** 時をみて会員の写真展を行い写真館の写真の良さを実感していただく。

「動くギャラリー」の写真を活用しての各地区単位での写真展の開催。

- **研修会** 「動くギャラリー」をもとに、研修会を開催。また、撮影セミナーの開催も。

- **機関誌の発行** 会員向けに「お客様により良い写真を提供する」ことを主目的とした内容の機関誌を定期的に発行する。

- **大会の開催** 適時、会員全員が一堂に介し、情報交換や勉強会を開催。

- **会 費** 年会費=5,000円

- **設立時期** 2008年1月1日設立（予定）

「フィルムの良さを伝える会」入会申込み書

FAX送付先「フィルムの良さを伝える会」事務局行/FAX03-5338-8942

写真館名

電話番号

FAX

氏 名

Eメール

ご住所

〒

「フィルムの良さを伝える会」事務局

株式会社 映像企画

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-3高田馬場ファミリービル403

TEL03(5338)8941

FAX03(5338)8942

® Ñ Ÿ ç Ü w ‘ ^) ; Q ” q -

設 立 趣 旨

私達は銀塩写真そしてデジタル写真を愛し、どこまでも写真が大好きです。そして今や世の中は何でもデジタルに目が向けられています。写真館も例外ではなく、急速に進んでいるのは確かです。しかし、だからと言って安易に何も彼もデジタルにしてゆけばよいという問題ではないと思います。特にスタジオ写真に於いては銀塩写真の方がいろいろな面で遥かに優れていると確信しています。何故なら写真という表現に欠かせない深いものを沢山持っているからです。

そもそも写真館の役目は何でしょう。

写真というかたちに二度と戻る事のない、その人、その方のご家族、そして、その方の生き方などを高いレベルで表現し、記録していくことではないでしょうか。

私達は今のこの現状を見て、写真館の本質である表現と記録が疎かにされ、だれにでも簡単に作業ができ、材料代を安くし、新しい商品と銘打って内容に乏しい商品を出し、とにかく商売優先、利益優先とも言える方向に向かっているようにも思えるのです。勿論、商売なので色々な考え方があって良いと思います。でも、どの方も写真館本来の目的（本質）を忘れていてのではないかと思います。ただ考え方の優先順位が多少違うのではないかと思います。

その様な現状の中で私達も（この会も）デジタル写真を否定しているものではありません。現にデジタルでなくてはならないジャンルも沢山あります。どんどん取り入れるべきではないでしょうか。

しかし、銀塩写真はデジタル写真に比べ、ライティングに巾があり、色再現、グラデーション、色の奥深さ、人物の立体感、自然らしさ、などなど沢山の優れている点があります。こんな素晴らしい銀塩写真を使い、どこまでも写真の素晴らしさ、写真館の必要性を訴えていきたいと思えます。

ただ簡単に撮れるとか、早いとか、安いとか、失敗したら直せるとか、そんな安易な気持ちでシャッターを切っていったら写真館はやがて、必要ない存在になります。そのような事のないためにも、私達は1枚の写真の大切さを深く考え写真づくりをしてゆかなければならないと思います。写真館は1枚の写真にける想いからです。..そんな想いをどこまでも大切にしたいものです。

そんな私達と銀塩フィルムを作り続けて下さる富士フィルムと共に写真文化を残せる写真館として頑張っていこうではありませんか。

このような趣旨をご理解頂き、共感をお持ちの方はどうぞご入会下さい。そして共に勉強して行きたいと思えます。

以上